

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン
ロータリー

会長 高 畠 裕
幹事 車 田 裕 介



2022-23年度国際ロータリーテーマ

第1729回例会

令和 4 年 9 月 29 日 (12:30～13:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 高畠裕会長（ホームミーティングの報告ありがとうございました。先週の報告も含め、例会やクラブ運営に反映できるように努めてまいりますので、よろしくお願いします。）
- 金田昇会員（週末の野球大会の盛会をお祈りいたします。）
- 永野文雄会員（ホームミーティング発表者の会員さん、どうもありがとうございます。10月2日の東北野球大会は全力を出し切ってください。応援に行けませんのですみません。）
- 居川孝男会員（先日のホームミーティングでは青木班長ごちそうさまでした。今週末にはRC東北地区野球大会がありますので、お時間ある人は是非泉崎さつき球場に足を運んでください。）
- 鳴島三夫会員（9月27日、結婚のお祝いありがとうございました。また、ホームミーティングの報告させていただきます。）



10月2日前夜祭・3日
ロータリー東北地区野球大会

▶第1729回例会出席状況 (R4年9月29日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	64
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	60.9%

▶例会日：第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



高島裕会長

皆さん、こんばんは。お忙しい時間帯に出席をいただきましてありがとうございます。先々週、雑誌広報委員長の鈴木典雄委員長のほうからお話がありましたように、ロータリアンの三大義務の一つということで、例会の出席、会費の納入、そして雑誌の購読という三大義務がロータリアンにはあるんですよというお話がありました。その中で、西ロータリークラブ66名の会員の方がいらっしやって、いつも、このぐらいのメンバーの方に参加いただいていること本当に心より感謝申し上げます。また、当クラブはZoomもハイブリットということで開催してますので、是非会場に来れない場合はハイブリット、Zoom参加をしていただければというふうに感じております。ということで、今日は皆様のほうに報告が沢山ありますので、報告が多い会長の時間にはなってしまうんですが、まず、10月2日に行われますロータリー東北大会です。親睦野球大会が開催されますということで、会としての事業となっておりますので、皆様のご参加、応援をお待ちしております。泉崎のさつき公園球場で開催されますので、是非よろしくお願います。前夜祭のほうも執り行われまして、会員の方何名か今出席をいただくというふうなお返事をいただいております。居川パスト会長をはじめとして、夜な夜な宣伝活動をしまして、当日応援に来ていただける方募集しております。是非会員の皆さんも参加していただければと思っております。また、10月4日には米沢中央さんとの合同例会ということで、ゴルフコンペに参加される方、そしてゴルフコンペの後のアサヒビール園での合同例会に参加される方、そしてこちらからバスで出発される方というふうな形で、こちら今現在26名の方の合同例会参加承っております。本当に皆様には感謝するばかりでございます。ゴルフに参加される皆さんも怪我のないように、そして素晴らしい成績が残せますよう、わたくしも幹事も心から祈念しておりますので、どうぞよろしくお願います。また、10月27日の例会にはガバナー公式訪問ということで、佐藤正道ガバナーが白河西ロータリークラブのほうにおいでくださいます。委員長の皆さん、大変お手数をおかけしますが、ガバナー公式訪問の際はよろしくお願したいと思います。その後、ガバナー公式訪問の後はガバナーの歓迎会ということで、白河西ロータリークラブが主幹となりましてガバナーをお迎えしての食事会となります。是非、皆様参加の程よろしくお願したいと思います。さて、先日9月27日にガバナーの公式訪問が白河ロータリークラブでございました。その後に、ガバナーのほうからは是非市長のほうに表敬訪問したいということで、約45分間、白河クラブさん、そして南クラブさん、我々、そしてガバナーと地区の副幹事、それから群部ガバナー補佐ということでお邪魔してまいりました。45分ぐらいの時間ではあったんですが、あっという間に過ぎるような内容の濃さで、市長も大変喜んでおられました。また、佐藤ガバナーも市長が県の職員として会津のほうにいらっしやった時があったということ

で、会津のほう詳しくお話があったので、佐藤ガバナーも大変喜んで帰られました。わたくしも佐藤ガバナーとは初めてそこでゆっくりお話しする機会いただきましたので、次のガバナー公式訪問の時にはあらかじめ心の準備ができてるようなつもりでございます。皆さん、どうぞよろしくお願したいと思います。それから、駐車場の件なんですけど、皆様のほうで第一ホテルさんから駐車券をまだいただいてない方いらっしやいましたら、事務局吉田さんのほうに声をかけていただければと思います。そちらの駐車料金のほう、クラブのほうで負担しておりますので遠慮なく申し付けていただければと思います。それから、こちらのお食事券、こちら当ホテルの「セゾン」さんで使えるはずだった食事券なんですけど、こちら「セゾン」さんのほうが営業しておりませんので、お持ちになってる会員の皆さんは吉田さんのほうにこちらの券を一度返却していただいて、私のほうがホテルのほうからお話をさせていただいて進めてまいりたいと思います。今、こういった券をお持ちの方、またはご自宅にある方いらっしやいましたら、吉田さんのほうに返却していただければと思います。その際、自分で枚数のほう何枚渡したかということ覚えていただければと思いますので、どうぞよろしくお願したいと思います。ということで、今日はこういった報告事項が多くなってしまいました。あと、先週のホームミーティングの報告にありましたように、池田さんのほうから発表がありました。お客様が来ている時に、食事をしてるのはどうなのかというふうなことがありましたので、今日からわたくしのほうもお客様が見えた場合には、時間によってお食事をこの時にとる方がいらっしやいますということも含めて、一言添えながらということで。今日もですね、私と幹事ホームミーティングの大切な報告がある時間ですが、お食事のほう取らせていただければと思いますので、どうぞご理解の程よろしくお願したいと思います。ということで、できることは変えていく。そして、今すぐできないことは検討しながら前に進んでいくという形で、今後も尽力してまいりたいと思います。どうぞ会員の皆様、ご理解の程よろしくお願したいと思います。

■幹事報告

車田裕介幹事

- 福島民報社：福島県立白河高等学校創立100周年特集ご協賛のお願い
- 2021-22年度ガバナー 志賀利彦、地区幹事 蛭田修二、資金委員長 菅原寛：地区資金決算書(案)のご案内
- ロータリー米山記念奨学会理事長 若林紀夫、事務局長 柚木裕子：10月米山月間資料のご案内
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団室NEWS2022年10月号
- 国際ロータリーの友委員会 委員長：新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件(お知らせ)
- ガバナー事務所：お詫びと訂正

■委員会報告 ○野球愛好会



吉田充監督

皆さん、こんばんは。横断幕ができたのでお披露目させていただきます。このロータリー東北野球大会ですが、親睦をメインとしてやる野球大会になっております。今度の10月1日の夕方から、親睦とお客さんをお迎えして白河西ロータリークラブ主幹で前夜祭を行います。まだ出席できる方おりましたら、私どものほうに連絡いただければ席を準備させていただきますので、よろしくお願ひします。また、2日の日は朝から3試合、試合をやりませう。それと東北野球大会ではないんですが、白河西ロータリークラブと白河ロータリークラブが1時45分から白熱した試合をやりませうので、是非お時間のある方、会場まで足を運んでいただひて声援いただければありがたいなというふうに思ひませう。



■本日のプログラム

ホームミーティングの発表

○第7班



藤田和克会員

皆さん、こんばんは。第7班の報告のほうをさせていただきます。第7班は、9月13日の18時30分から「赤門新館」でホームミーティングの開催のほういたしました。第7班のメンバーは、諸橋班長、書記がわたくし藤田、メンバーが小林義勝バスト会長、佐藤幸彦会長エレクト、水上会員、兼子会員、運天会員、寺島会員、全員参加でホームミーティングの開催をすることができました。第7班に関しましては全員揃ったということで、まず乾杯からスタートしたということで、もう飲むぞという意思硬くスタートのほうさせていただきました。その意思どおり、紹興酒をもう何本も開けてしまひまして、途中でなくなったというふうな状況もありましたけども、高島会長が自らが紹興酒を持ってきていただひてお酌、それと最終的には会のほうに参加いただきながらホームミーティングの開催のほうできました。まず、メンバーのほう私も含めて入会間もないメンバーもいますので、自己紹介ということで全員が入会した当時の話であったりとか、どういふふうな形で入会したのかというところも含めて人となりでお話をし、まず打ち解けながらスタートするというところから始まりました。また、ホーム

ミーティングというのはそもそもどういふところからスタートしたのかというところを、佐藤幸彦会長エレクトのほうからももとはファイヤーサイドミーティングという、囲炉裏を囲みながらいろいろな話をし、親睦を深めていくんだよというところからスタートしたんだという歴史の話をいただひて、その後ホームミーティングという形で各班長がメンバーを自宅に招いてコミュニケーションを取りやすい環境でやっていくというふうな形で、素晴らしい歴史を教へていただきました。今回、第7班もこのいふ形で親睦を深めながらできたのかなというところになります。それで、今回の議題でありますテーマ1のところでせう。女性会員を増やすのはというところですが、女性会員男性会員関わらず、当白河西ロータリークラブに関しましては、会員もう既に他の白河のロータリークラブに比べて人数が多いところもあるので、適正人数的にもどこまで増やしていくのかというところの議題もありましたけれども、最終的にはしっかり女性会員に向けてというところの話はさせていただきます。いろいろな意見が出ましたけども、まずは男性会員が魅力的になるというところが必要なんじゃないかなんて話も出まして、アンチエイジングであったりとか、脱毛であったりとか、スキンケアとか、いろいろな話が出て、そういふところに通ってはどうかなんて話も出ました。それと、私自身も保険会社という女性の多い職場で仕事してませうのでどうなんだという話も意見を求められましたので、よくやってるのが女性の方を招いてセミナーを開くというところでは、その女性の方を招くためにはどういふ形をとっていくのかというところで、女性会員の方のご努力というかご協力のほうも必要になってきまして、お知り合ひの女性の方であったりとか、あとは他団体でせう。JCとかYEGとか、あと同友会であったりとか、そういふところに女性の会員がいらっしやるということなので、そういふ方々から誘ってみるのはどうなのかというところもありました。では、お誘ひする時には男性会員だけとか女性会員だけでお誘ひするわけではなくて、やっぱり女性と男性会員と二人一組という形でお誘ひするほうが、あまり警戒心を持たれないのかなという話もありました。余談ではありますけども、ヒッチハイクをする時にどういふ状況が一番ヒッチハイク成功しやすいかというところ、やっぱり女性と男性のペアが一番ヒッチハイクが成功しやすいということもあったので、そういふことも意見のほうは出ました。それが女性会員を増やすためにはということでお話のほうさせていただきます。テーマ2の、現在のクラブの問題点とその解決策はというところなんですけども、あまりこの問題点というところよりも、良いところがまず皆さん口を揃えて出たのは、先輩後輩の繋がりが非常にいいということで、あまり目立った問題点ってないんじゃないのかなんていう話が出ましたが、話を進めていくと細かいところではあるかもしれませんが、年度始に発行されるロータリーの名簿のところ、ちょっと探していくのにはわかりづらいと。あいうえお順であったりとかそういふところでもあったほうが写真と顔が一致するところとしてはいいのかなというところが一つと、やはり私も含めた入会がまだ短い会員にとっては、やっぱり60人以上の会員数ですので、顔と名前覚えていくためにA4型の冊子を持ち歩くというのとはなかなか難しいので、過去にあつ

たということは聞いておりますけども、手帳型の名簿があれば内ポケットであったりとか、ちょっとしたカバンに忍ばせるという形で、すぐに取り出せてすぐに顔と名前を確認できるということがシェアしやすくなるのではないかと、手帳型の名簿を是非来年度以降というか発行できるようにしていただきたいという話もありました。あとは会員限定のホームページなどを作って、情報交換であったりとか、西ロータリーのニュースであったりとか、中にはフェイスブックとかでニュースのほうは毎回出されておりますけども、見る方見ない方もやっぱりおりますので、一括したホームページがあれば、より情報共有ができやすいのかなという意見もありました。あとは嬉しいの部分も多いんですけど、駐車場の確保であったり、あとは料理の充実であったり、そういったところも含めてもうちょっと充実していただければ、そういうところも発展していくのかなというふうに話がありました。特に、こういった細かい要望というか問題点とか解決策というところではなかったんですけども、それだけ良いクラブなのかなということも私も改めて感じましたし、今回のホームミーティングもだいぶ盛り上がったミーティングになりましたので、是非こういったミーティングはコロナ禍の中でなかなか大変なところではあったと思いますけども、続けていきたいなというところは感じました。最後に、ミーティングが終わった後は月のあかりに皆さん消えていかれたというところで、ミーティングが終わったという形になりました。以上で、第7班の発表のほうを終わらせていただきます。

○第3班

山口治会員



皆さん、こんばんは。本来ですと、書記の沼田さんが発表するんですけども、今日職業奉仕ということで残念ながら出れないということで、次は本来でしたら班長の矢田部さんが発表するところなんですけども、矢田部さんも今日欠席ということで、例会場に來たら、私のほうに原稿が回ってまいりましたので、代理で発表をさせていただきたいと思えます。第3班、班長が矢田部錦四郎会員。書記が沼田会員。出席会員が、山口会員、宮本会員、大竹会員、渡部会員、鈴木信教会員。そして、残念ながらコロナに罹ってしまって須藤会員が欠席ということでありました。開催場所は、根本会員の店「アジアン」でおこないました。テーマについて、女性会員を増やすにはということ、女性は小さい事業主が多くロータリークラブと聞くと気が引けることが多いと。この辺は大竹会員、女性会員ということで女性会員を増やすには一番意見を持ってるんじゃないかなということで、最初に多く発言していたような気がします。年会費の負担が大きく感じる。年会費、約18万なんですけども、この辺がやはり大きいんじゃないかというふうなことです。入る意味がわからないという女性が多い。まあ漠然とロータリークラブとはというふうにと考えると、ロータリークラブに入ってどういうメリットがあるのかなということがわからないということなのかなと思います。今まで、積極的に入会を促したことがなかった。特に女性を増やす意味がわからない。男性女性に関わらず増やすことがいい

のでは。特に女性会員を増やすということにこだわらなくてもいいのではないかという意見だったと思います。会員を増やすのは女性会員を増やそうとしているのでは。ん、私も読んでよくわからない。日本の女性活躍は世界に比べてまだまだで、女性トップリーダーが生まれていない。次が、我が白河西は女性が約10パーセントいる、まだいいほうだということでもあります。いわきでは、女性だけのクラブがある。現在の活動はということなんですけども、これについてこれははっきりいってわたくしが言ったことなんですけども、私が会長になる前のP E T Sに行った時に、いわき桜ロータリークラブの次年度会長さんとお話する機会があったんですけども、その時会員数確か20名ちょっといたと思います。先程、ガバナー月信を見たら会員数が10名になっていました。なかなか女性だけのクラブというのは難しいのかなというのが、数字だけでちょっと見えてくるものがあるような気がします。次に対策としてということなんですけども、やはり会員の知り合いの人からの紹介が必要で入るきっかけになる。この地域の女性事業主やリーダーになっている人のリストアップが必要ではないかと。ロータリークラブに入る前に、その企業に手助けを会員ネットワークでする。会員の奥様を入れてはどうかという案もある。これは私が言ったんですけども、もう7~8年くらい前だと思うんですが、その時のR Iの会長さんが、確か台湾出身の方だったと思うんですけども、女性会員を増やすには奥様を入れれば倍になるんだみたいな感じでR I会長が言ってたというのを私が喋ったということだと思います。この地域の女性が経営している企業、店などをリストアップして会員で誘い合ってみる。また、入った時に裏切らないことが大切。これ沼田さんの文章なので、ちょっとわからないところなので、すいません。ロータリークラブとは、由来はビジネスパートナーとしての会。今は奉仕を目的としているが、その女性経営者に対して本来のビジネスパートナーとして役割を果たすことが、女性会員増強に繋がる。ロータリークラブのイメージの改善が必要ではないかと。横の繋がりを大切にしていけばいいと。女性会員を増やすなら本気で取り組む必要がある。委員会の立ち上げ。と書いています。続きまして、テーマ2ですね。今のロータリークラブの問題点ということで、委員会の選別の、希望の委員会に配属させてもらえないので、できれば希望を聞いて欲しい。これは確か、大竹会員がお話してたんですけども、今年度の組織図に自分の名前が載るにあたって、この委員会はちょっと自分の議会とかいろいろあると思うんですけど、大竹会員。都合があるので、この委員会委員長とかは私は無理ですというふうな事を言ったらしいんですけども、その要望はちょっと要望通りにならなかったということは言っておりました。入会の初期に、いろいろなアドバイス等フォローがしてもらえない。ロータリークラブの仕組み、委員会の活動、募金の内容と仕方や金額がわからない。例会のやり方や、重要な会議の内容がわからず欠席してしまった。これは沼田会員がお話してた事だと思います。実際にIMなんですけども、前年度IMがあったわけなんですけども、IMがそんなに大きな意味のある会だということ沼田会員は知らずに、前々から予定を入れてたゴルフのほうに出席する予定だったということで、IMそんなに大事な会だということ知らな

ったと。ですから、そういう事をちゃんと教えていただきたいというふうなことを仰ってました。続きまして、入会してすぐ慣れずに行事に参加しないている人もいますので、丁寧に説明が必要ではと。増員するにも入会時の印象が大切。よくわかりません、私も読んで。沼田会員も結構お酒入ったので、すべてをメモできたわけではないと思いますが、代弁者として私が最後に付け加えるとすると、やはりこの最後のほうにお話してたとおり、新入会員に対するフォローアップといいますが、何をしたいのか、この会はどのようなものなのかということが、新入会員わからない。本当にスマイル、例えば2千円が大体レートですよというか基準ですよみたいなというのは、私も入会した時に確か亡くなった鈴木一郎さんなんか、これ金額は幾らなんですかというふうなことを聞いたような記憶があります。ですから、そういったところを丁寧にと言いますが、やはりしっかりとフォローアップ、アドバイス等をやっているかきいけなし、私が入会した頃だとロータリーは例会に出続ければ、少しづつわかってくるんだから、基本例会に毎回出てきなさいというふうなことを教えられたような気がするんですけど。先週でしたか、中目さんが以前は出席率60パーセントでOKだったのが、今は50パーセントになってしまったということで、それだけ出席率のこともあまり昔ほどうるさくなくなっているわけですから。やはり、クラブとしても新人に対しての手厚いフォローアップというのは必要なのではないかと私も考えました。ということで、代読ですので一応これで第3班の発表とさせていただきます。

○第5班

堀田一彦会員



皆さん、こんばんは。第5班のホームミーティングの発表をさせていただきます。9月18日曜日に18時30分から「アジア」のほうでおこないました。出席者は、佐川京子班長、中目公英パスト会長、それと根本あゆみ会員と書記の堀田の4人という、少し寂しいようなホームミーティングでした。なかなか佐川さんの議会中ということもあって、日程が合わずに調整が難しくて日曜日に開催したということで、人数が少なかったということです。まず、テーマ1の女性会員を増やすにはですが、西クラブは他のクラブと比べると女性メンバーは多いほうなので、増やすなら女性メンバーにこだわらなくてもよいのではないかという意見や、そもそもこれ以上会員を増やす必要はあるのかという意見も出ました。それでも、女性メンバーを増やしたいということならば、白河西郷地域で女性経営者が何人くらいいて、その中で年齢ですとか他団体への所属、それから家庭とか仕事の環境などそういったものを調査してから声をかけないと、なかなか現実的には難しいんじゃないかという意見もありました。ロータリアンはある程度の時間とお金に余裕がないと、例会にも参加できずに会費を払い続けるというのは入会した意味があまりないということなので、女性会員の場合ですとお子さんですとか介護が必要な親御さんがいるような女性経営者ではなかなか難しいのではないかと。そう考えると、女性メンバーが6人もいれば白河西クラブは大丈夫だろうというふうなことで中目さん

がまとめてくれました。それから、テーマ2の現在のクラブの問題点とその解決策については、特に大きな問題はないと思うんですが、強いてあげれば比較的新しく入会したメンバーには、ロータリークラブのことをやっぱりよく知らないと思いますので、そこはロータリー情報委員会を中心に勉強会など開催して、フォローアップしたほうがいいだろうというふうな意見でまとまりました。基本ですね、私と中目さんと佐川さんの3人で話していたので、本当に話が薄いです。根本会員は、仕事終わってから最後の20分くらいしか混ざってないので、基本3人だけで話していたので話の内容が薄くてすいません。以上で、第5班の報告とします。

○第6班

吉田充会員



第6班のホームミーティングの報告をさせていただきます。第6班は、9月15日曜日18時30分から22時頃だったと思いますが、場所は日本料理「楓」でおこないました。第6班のメンバーは、安部和夫班長、永野文雄会員、湊洋子会員、高島裕会長、村上堅二会員、島田修一会員、瀬谷隆志会員、それと私の8名でしたが、永野会員と湊会員、島田会員は欠席の連絡があり、5名で開催させていただきました。わたくしメモを取るのが非常に苦手で、目の前にアイフォンを出してこれで録音しますというふうな形でやらせていただいたんですが、録音の仕方が悪かったのか、あとは困る人がいたのかちょっとわかりませんがうまく録音されていなくて、ちょっとメモを取ったほうが良かったかなと反省しております。それで聞きづらい中でも、聞き取れたところをご報告させていただきます。テーマ1の女性会員を増やすにはということで、当班には高島会長がおりましたので、西クラブの会員増強の状況のお話などをいただきました。それで、今年度R Iでは20パーセントの女性会員を増やすことを目標としているというお話。当西クラブに置き換えると、20パーセント増やすと、12~13名にならないということで。会長は10パーセントでいいんじゃないかというふうなお話で、6名程度増やすのを目標にしたいというふうな形でご説明をいただきました。それを踏まえて、女性会員を増やすにはどうすればよいのかということ話し合いました。その結果、ロータリーに入るにはパートナーの理解が大いに必要であると。男性会員であっても、奥様に理解していただかないとこの会場に来れないのではないのかという話がありまして、女性会員だと旦那さんの理解を得るのはちょっと難しい部分であるのかなんていう話が出ておりました。それから、先程来からも出ていますが、女性経営者が少ないので難しいのではないのかとか、企業の役員から女性会員を入れてもらうのはどうかとか、そんな話が出てきた中で、「エクシブ」の総支配人をやっている方が女性ですというふうな話が出まして、その方を入れたらどうかなんていう話が出始めた頃に、もうお酒もちょっと回り始まりまして、いろんな話が出ましたがその女性経営者が少ない中でも、要は西ロータリーに卓話に来ていただいてその中から会員を増やしていければいいんじゃないかなんて話が出てきてまして。それじゃあ、ちょっとその女性会員のリストを作ってみたらどう

かという話になりまして、先程お話ししました「エキシブ那須」の総支配人が我妻菊代さんでしたか。あとは、当クラブに入っていた、今は亡くなってしまった吉成清志会員の奥様の礼子さんであったり、また三瓶徹さんの奥様、律子さんであったりの名前が出ていました。ただ、ご主人を亡くして間もない部分であったり、吉成礼子さんにおいては茂君というお子様がロータリーに入ったらどうかという話も出ている中でのお話ですので、ちょっとこころは難しいのかなと、まだ時間がかかるのかなと思います。それと、近藤有美さん。白河青年会議所のメンバーでございます。それと「アリス」の社長の高田久美子さん、女石の交差点の所のクリーニング屋さんのオーナーさんでございます。それから、林特別会員の息子さんのお嫁さんかな。林千草さん。それから、商工会議所青年部の緑川順子さん。その7名の方の名前が挙がりました。プログラム委員長の方をお願いして、その中で当クラブの例会において卓話をいただくような形をやってはどうかというお話が出たのでご報告させていただきます。それと、テーマ2でございます。現在のクラブの問題とその解決策ということで、西クラブには多くの会員の方が入会していますが、ロータリー用語、先程も出たと思うんですが。わからない会員が多いのではないかとこの意見が出ました。それから、もっとわからないところをわからずじまいでいくのではなくて、できればそういった部分を教える場があったらいいのかなというふうなお話が出ています。その中で解決策としては、ロータリー情報委員会がロータリー用語を教えること。あと、先程来出たようにクラブ内の暗黙のルールとか。山口さんが言ったように、スマイルは2千円だとか、誕生日のお祝いいただいたら5千円だとか、そういう部分とか、またもうちょっと細かいところも情報委員会が今回やってるホームミーティング的に6人か8人くらい集めて、お酒を酌み交わしながら、そういった事を教えるというのはいいのではないかとこのふうなお話が出てきました。それから後半戦に入り、高島会長より全体の事業に参加するメンバーが少ないように思うということ。あとは、今年度でいえばCKB野球大会の参加者などが少なかったのと、東北野球大会これからですが参加者も少ないよというふうなお話もあり、お話が進んでいく中で、昨今はコロナ禍の中で仕方がないのではないかとこのふうなお話が出てきて、クラブ内の感染者とか後遺症などの話で話はちょっと違って盛り上がってしまったかなという感じでした。そんな中で、第6班としては一応ちょっとまとめになってないかもしれないんですが、そんなふうなお話をいただきながら、楽しくホームミーティングをやらせていただきました。以上で、第6班のほうの報告を終わらせていただきます。

○第8班



鳴島三夫会員

改めまして、皆さんこんばんは。第8班のホームミーティングの報告をさせていただきます。日時は9月26日の月曜日、楽蔵にあります「楓」で6時30分より開始いたしました。メンバーは、班長に青木大会員、委員に居川孝男バスト会長、車田裕介会員、上杉謙太郎会員、石川格子会員、鶴丸彰紀会員、鈴木典雄会員と私、書記鳴島で8名で。高島会長が遅れて参加していただいて全員9名でおこないました。まず久しぶりの参加でありましたので、上杉謙太郎会員の乾杯でテーマに沿って始めました。テーマ1の女性会員を増やすにはですが、まず西クラブの女性会員の周りのお知り合いの方から入会を勧めてはということでもございました。また、西クラブで卓話をしていただいた中島村の「フジ機工」の近藤有美さん、今も出ましたけども。あと、西郷村の小針さんに入会を勧めてはということでした。また、コミネスの館長が宮田慶子館長。女性でございますので、コミネスはカルチャーネットワークの管理運営しているので、藤田龍文会員や諸橋会員に入会を促してもらってはというふうなお話も出ました。また、中島村の「水の谷工芸」の代表、西山さんや、ジロ・デ・シラカワの事務局の緑川順子さん。あとは甲子温泉の「大黒屋」の女将さんとか、甲子温泉の「五峰荘」の女将さんなどの名前も挙がりました。またその他に、介護施設の代表の方は大住会員のようになら女性が多いのではとの意見も出ましたが、その辺はよくわかりません。しかし、日本の企業の代表は男性に比べて女性には地方に行くほど少ないので、女性の会員を増やすのは大変だというふうな意見が出ました。そんな中、3班の方の話にもありましたが会員の奥様を入れるということで、「丘の上幼稚園」の女性園長さんや、「楓」の女性経営者との意見も出ましたが、ご主人のほうで退会してしまうのでプラマイゼロではないかという意見が出ました。また、テーマ2の現在のクラブの問題点と解決策ですが、まず新入会員の例会参加やセミナー、親睦活動への参加がちょっと少ないのではということ、周りの会員が声をかけて親睦活動や例会に参加してもらおうというふうなことでした。委員会活動なども、日程を調整して参加しやすいようにするとの意見も出ました。次に、年代の違いで交流が少ないようなので、飲み会の時の二次会などで年代の違いを超えて参加しやすいようにするというので、例えば二次会の場所などを世代間が違って出やすいような場所にとこのふうな意見も出ました。また、ロータリークラブの知名度が低いので、それを高めていくのは大変重要ではないかということでもございました。その後は、美味しい食事でアルコールがはずみ雑談となってしまいました。上杉会員がおりましたので、国会での活動報告や衆議院の地区割りの話で大変盛り上がりました。また、あるバスト会長はJ C理事長の時代に一年間で相当の接待費を使ったとのお話もありました。多分、バブル期だったんだとは思いますが、相当な金額です。高島会長が少し遅れてまいりましたので、議員活動の今後などの話題になり、白河地方また福島県を良くするというふうな話などで時間も9時を過ぎておりましたので、「楓」のホームミーティングは終わり、二次会の席に移動し終了となりました。以上、8班の報告をいたしました。